

令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	数学・数学 I	単位数	2	対象学年	1学年
教科書	第一学習社 新編数学 I	教科担任		亀谷 城田 萩原	
使用教材	ネオパル(第一学習者)				

1 目標

数学と人間との関わりや社会生活において数学が果たしている役割について考え、数学に関する興味・関心を高める。また、数学を学習することを通じて考える能力を伸ばし、ものごとに諦めずに取り組む意識を育てる。さらに基本の計算等の定着をはかる。

2 学習内容と学習上の留意点

学期	単元	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定 時
1 学期	1章 数と式 1節 整式	整式 整式の加法・減法 整式の乗法	整式の加法、減法や指数法則・乗法公式の基本的な計算ができるようにする	文字式について理解させ、文字の計算に慣れさせる。	11
	1章 数と式 1節 整式 2節 実数	因数分解 実数 根号を含む式の計算	基本的な因数分解をできるようにする 平方根の計算及び分母の有理化の方法を理解する	因数分解と展開を互いに意識させる。	13
2 学期	1章 数と式 3節 1次不等式	不等式 不等式の性質 1次不等式 連立不等式	1次不等式及び連立不等式の基本的な計算ができるようにする	不等式の解法を理解し、それを様々な事象の考察に活用できるようにする。	13
	2章 2次関数 1節 2次関とグラフ	関数 2次関数のグラフ	2次関数のグラフについて、頂点の座標及び概形を理解できるようにする	関数の定義に立ち戻って、グラフを作成させる。	15
3 学期	2章 2次関数 1節 2次関数とグラフ	2次関数のグラフの最大・最小 2次関数の決定	2次関数のグラフをもとに、関数の最大・最小を理解できるようになる	単に数式だけで最大、最小を求めるのではなく、グラフを利用させる。	18

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。
2クラス3展開(基礎、標準、発展)の習熟度別授業を行っていく。

3 授業を受ける上での注意

積み重ねの学習が重要となるので、予習、復習を必ずおこなうようにする。
また数学的思考能力を高めるために、「なぜ?」という疑問を常にもてるようにする。

4 評価の観点・方法

定期考査・その他のテスト等の点数と提出物等を含む平常点を合計します。さらに授業に取り組む姿勢が重要です。これらを総合して評価します。